

# カイガラムシは もちるん!

# 幅広い害虫防除に!



チャノキイロアザミウマ



ゴマダラカミキリ

農林水産省登録 第23021号

## クミアイ ススラサイド<sup>®</sup> 乳剤40

ヤノネカイガラムシ  
(雌成虫)



ヤノネカイガラムシ  
(雄2齢幼虫)



クワシロカイガラムシ雌成虫(介殻)

介殻内の卵

**介殻は薬液をはじくので  
若齢幼虫期に薬剤散布する!**

サンホーゼカイガラムシ  
(ナシマルカイガラムシ)



アカマルカイガラムシ



フジコナカイガラムシ

クワシロカイガラムシ雌1齢幼虫



ツノロウムシ



**✓ マルカイガラムシ類を始め  
幅広いカイガラムシに有効!**

難防除害虫であるマルカイガラムシ類 (アカマルカイガラムシ、クワシロカイガラムシ、ヤノネカイガラムシなど) を始め、コナカイガラムシ類、ロウムシ類などカイガラムシの種類を問わず安定した効果を示します。

**✓ 幅広い殺虫スペクトラム!**

カメムシ目、アザミウマ目、チョウ目、コウチュウ目など殺虫スペクトラムが広く、カイガラムシと同時に防除できます。

**✓ 効果の発現が速い!**

自然に学び自然を守る



®は全国農業協同組合連合会の登録商標

# 殺虫剤 クミアイ ススラサイド<sup>®</sup> 乳剤40

■有効成分：DMTP…40.0%  
■毒性：医薬用外劇物

## 適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DMTPを含む農薬の総使用回数
みかん	サンホーゼカイガラムシ幼虫 ヤノネカイガラムシ(幼虫~未成熟成虫)	1500~2000倍	200~700ℓ/10a	収穫14日前まで	4回以内	散布	4回以内 (50~100倍 希釈散布は 2回以内)
	ルビーロウムシ幼虫 チャノキイロアザミウマ ミカンコナジラミ アカマルカイガラムシ幼虫 ツノロウムシ幼虫 カイガラムシ類 ユキヤナギアブラムシ フラパラソウムシ	1000~1500倍					
	ミカンキジラミ ミカンバエ成虫	1500倍					
	ゴマダラカミキリ成虫	1000~2000倍					
	カイガラムシ類 アカマルカイガラムシ幼虫 ルビーロウムシ幼虫 ツノロウムシ幼虫 チャノキイロアザミウマ ユキヤナギアブラムシ ミカンコナジラミ ミカンキジラミ ミカンバエ成虫 フラパラソウムシ	1500倍					
	サンホーゼカイガラムシ幼虫 ヤノネカイガラムシ(幼虫~未成熟成虫) ゴマダラカミキリ成虫	1500~2000倍					
	オウトウショウジョウバエ	2000倍					
かんきつ (みかんを除く)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
おうとう	オウトウショウジョウバエ	2000倍	3ℓ/m <sup>2</sup>	収穫7日前まで	3回以内	株元灌注	3回以内
小粒核果類	カイガラムシ類	2000倍	—	収穫14日前まで	—	30分間 球根浸漬	—
マンゴー	チャノキイロアザミウマ	2000倍	—	収穫45日前まで	2回以内	—	2回以内
くり	カツラマルカイガラムシ	1000~2000倍	—	収穫前日まで	2回以内	—	2回以内
びわ	ピワキジラミ	1500倍	—	開花期まで	—	—	—
にら	ネダニ類	2000倍	3ℓ/m <sup>2</sup>	収穫30日前まで	1回	株元灌注	1回
らっきょう	同上	2000倍	—	収穫14日前まで	1回	30分間 球根浸漬	1回
パイナップル	パイナップルコナカイガラムシ	200~700ℓ/10a	200~700ℓ/10a	収穫21日前まで	3回以内	—	3回以内
茶	チャノボソガ コムカンアブラムシ	1000~1500倍	200~400ℓ/10a	摘採14日前まで	1回	—	1回
	カイガラムシ類	1000~1500倍					
	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメコバヤ コカクモンハマキ	200~400ℓ/10a					
プリムラ シクラメン	キンケクチフトソウムシ成虫	1000倍	100~300ℓ/10a	6回以内	6回以内	散布	6回以内
花き類・ 観葉植物(※)	オンシツコナジラミ	1000倍	100~300ℓ/10a	6回以内	6回以内	散布	6回以内
樹木類	カイガラムシ類幼虫	1000~1500倍	200~700ℓ/10a	発生初期	5回以内	—	5回以内
	ケムシ類	1000倍					
いぬまき	キオビエダシャク	1500~2000倍	—	—	—	—	—
庭木	フラパラソウムシ	1000倍	—	—	—	—	—
イチイ	キンケクチフトソウムシ成虫	1000倍	—	—	—	—	—
げっしつ	ミカンキジラミ	1500倍	—	—	—	—	—
すいせん	ネダニ類 オンシツコナジラミ	1000倍	100~300ℓ/10a	6回以内	6回以内	—	6回以内
	キュウコンコナカイガラムシ	1000倍	—	—	—	30分間 球根浸漬	6回以内(球根 浸漬は1回以内)
ゆり	ネダニ類	2000倍	—	—	1回	30分間 球根浸漬	6回以内(球根 浸漬は1回以内)
	オンシツコナジラミ	1000倍	100~300ℓ/10a	発生初期	6回以内	散布	6回以内(株元 灌注は1回以内)
チューリップ	ネダニ類	2000倍	3ℓ/m <sup>2</sup>	発生初期	1回	株元灌注	6回以内(株元 灌注は1回以内)

※プリムラ、シクラメン、すいせん、チューリップ、ゆりを除く

## カイガラムシの越冬と防除適期(幼虫発生時期) —東海地区A県の例—

カイガラムシ種類	越冬世代	発生回数/年 (産卵回数)	幼虫のおよその防除適期**
クワシロカイガラムシ	成虫	2~3回	5・7・9月
ミカンヒメコナカイガラムシ	主に1~2齢幼虫	3~4回	5月中旬、6月中下旬、8月中下旬
フジコナカイガラムシ	2齢幼虫	3回	6月上旬、7月中旬~8月上旬、9月上旬~中旬
ミカンマルカイガラムシ	成虫	2回	6月中旬、8月中旬
サンホーゼカイガラムシ (ナシマルカイガラムシ)	1齢幼虫	3回	5月下旬~6月中旬、7月中旬~8月中旬
ヤノネカイガラムシ	成虫または幼虫	2~3回	6月上旬~中旬、8月下旬~9月上旬
ルビーロウムシ	成虫	1回	6月下旬~7月上旬
ツノロウムシ	成虫	1回	6月下旬~7月上旬、7月下旬~8月上旬

※※地域、天候により、防除適期は異なります。

## 効果が期待できる主要害虫

◎：効果が高い。  
○：効果がある。

害虫の分類	害虫名	効果		
クモ綱	ダニ目	コナダニ科	ロビンダニ	○
昆虫綱	アザミウマ目	アザミウマ科	チャノキイロアザミウマ	◎
			ミナミキイロアザミウマ	○
		クダアザミウマ科	カキクダアザミウマ	○
		コバヤ科	カキノヒメコバヤ	○
			チャノミドリヒメコバヤ	○
		キジラミ科	ミカンキジラミ	◎
			ユキヤナギアブラムシ	○
		アブラムシ科	リンゴワタムシ	◎
			ミカンコナジラミ	◎
		コナジラミ科	オンシツコナジラミ	◎
	カメムシ目 I	コナカイガラムシ科	マツモトコナカイガラムシ	◎
			パイナップルコナカイガラムシ	◎
			キュウコンコナカイガラムシ	◎
			フジコナカイガラムシ	◎
			クワコナカイガラムシ	◎
ミカンヒメコナカイガラムシ		◎		
カタカイガラムシ科		ツノロウムシ	◎	
		カメノコロウムシ	◎	
		ルビーロウムシ	◎	
		アカマルカイガラムシ	◎	
	カツラマルカイガラムシ	◎		
カメムシ目 II	マルカイガラムシ科	サンホーゼカイガラムシ (ナシマルカイガラムシ)	◎	
		ミカンマルカイガラムシ	◎	
		クワシロカイガラムシ	◎	
		ウメシロカイガラムシ	◎	
		ヤノネカイガラムシ	◎	
	ツヤアオカメムシ	○		
	クサガカメムシ	○		
	チャバネアオカメムシ	○		
	コウチュウ目	カミキリムシ科	ゴマダラカミキリ	○
	ハエ目	ショウジョウバエ科	オウトウショウジョウバエ	○
チョウ目	ハマキガ科	ナシヒメシクイ	○	
	ハモグリガ科	モモハモグリガ	◎	
		ギンモンハモグリガ	○	
	シクイガ科	モモシクイガ	○	
	ツトガ科	モモノゴダラノメイガ	○	

【注意】実際の薬剤使用時には、使用する薬剤の登録内容(作物名、適用病害虫名、希釈倍数、使用液量、使用時期、本剤の使用回数、使用方法等)を確認し、必ず遵守してください。また、同じ害虫種であっても、各地域の個体群間で感受性が異なる場合があるため、その際は地域で得られている知見を優先させていただきます。

## 注意事項

- 石灰硫黄合剤、ホルド液等アルカリ性薬剤との混用は避けてください。
- 茶のコクモンハマキの多発時には効果が劣るので注意してください。
- オンシツコナジラミには約7日間隔で2~3回繰り返して散布してください。(成虫及び若令幼虫に有効)
- 花卉・花木類はあらかじめ安全を確認してから使用してください。但し開花時には使用を避けてください。(葉害)
- フラパラソウムシ及びミカンキジラミを使用する場合は、植物防疫事務所、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 使用時に結晶が見られる場合は、容器をよく振って結晶を溶解してから使用してください。また、危険であるため加熱しないでください。
- 使用量、使用時期、使用方法を守ってください。適用作物群に属する作物又はその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 医薬用外劇物ですので、取り扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当てを受けてください。使用中に異常を感じた時は直ちに医師の手当てを受けてください。
- 薬液調整時には保護メガネを着用し薬剤が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗いし、眼科医の手当てを受けてください。(原液は刺激性)
- 皮膚に付着しないよう注意してください。皮膚に付いた場合には直ちに石けんでよく洗い流してください。(刺激性)
- 使用時は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防護衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをし衣服を換えてください。
- 作業時の衣服等は他と分けて洗濯してください。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等を使用する場合、使用区域に縄目や立て札をたて、使用中及び使用後(最小限その当日)関係者以外を立ち入らせないでください。小児、人畜等に留意してください。
- 施設内の散布では換気に十分注意し、散布液が施設内にもならないようにしてください。
- 農業にからならないよう注意してください。(畜産)
- ミツバチの巣箱及びその周辺にからならないようにしてください。
- ミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用を避けてください。
- 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してください。(甲殻類)
- 散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さないでください。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。空容器は厩場などに放置せず、3回以上水洗い、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌に記帳しましょう。

\*この資料は、2020年9月現在の知見に基づき作成したものです。